

知財法務を知る

——重要テーマとその実践

小泉直樹 編

担当編集から 本書は知財「法務」の書籍です。企業には、自社の知財が侵害されることを予防・解決するだけでなく、知財を侵害されたと他社から主張されることの予防も求められます。そのためには「知的財産法への理解を深め気をつける」だけでなく、知財分野の各法が定める権利の活用や、契約・社内ルールの整備による積極的な対策が求められます。また、近時、知財を競争力の源泉として企業価値を高める経営手法（例えば事業立上げの段階から知財を考慮に入れ、他社に先んじて計画的に権利を取得し、戦略的にライセンスを行うことで市場を広げつつ、マーケットに向けられた投資を自社に呼び込むなどの方法）が実践されており、法務だけでなく幅広い職種で知財に関する理解の必要性・重要性が高まっています。

本書では、各分野第一線の著者陣が、企業経営上直面する知財に関する法的課題やリスクに対応するための現実的な方法を、実務でよくある事例を設定して解説します。知財を武器にしたい人のための1冊です。(石山)

Point 著作権・特許・不正競争・意匠・商標・知財経営の実務を知るためのテーマを集めました。

- 第1章 権利制限(奥邨弘司)
- 第2章 著作権登録制度(桑野雄一郎)
- 第3章 著作権法における利用権の当然対抗(澤田将史)
- 第4章 音楽の著作物(橋本阿友子)
- 第5章 映画の著作物(内藤 篤・伊藤真愛)
- 第6章 スポーツ(小坂準記)
- 第7章 出版(村瀬拓男)
- 第8章 現代アート・NFTアートと著作権(島田真琴)
- 第9章 プロパティダ責任制限法(丸橋 透)
- 第10章 ソフトウェア開発委託契約と著作権(伊藤雅浩)
- 第11章 ソフトウェアライセンス契約と著作権(町野 静)
- 第12章 AIと知的財産権(福岡真之介)
- 第13章 特許ライセンス契約(松下 外)
- 第14章 共同研究開発契約(大野聖二)
- 第15章 スタートアップ(山本飛翔)

- 第16章 職務発明をめぐる諸問題(松田誠司)
- 第17章 特許権と後発医薬品(城山康文)
- 第18章 知財訴訟における証拠収集手続(小林秀之)
- 第19章 秘密保持契約における知的財産保護を踏まえた管理条項(濱野敏彦)
- 第20章 営業秘密の重要論点(末吉 互)
- 第21章 データのライセンス提供と知的財産法(岡村久道)
- 第22章 不当表示(景表法・不競法)(植村幸也)
- 第23章 ファッションデザインと知的財産権(海老澤美幸)
- 第24章 商標登録に向けて何を検討すべきか(中川隆太郎)
- 第25章 税関での水際措置(宮川美津子)
- 第26章 知財経営(鮫島正洋)
- 第27章 知財デューデリジェンス(柴野相雄・山田 拓)
- 第28章 知財法務総括(奥邨弘司)

知財法務を知る

重要テーマとその実践



小泉直樹

知財法務の「今」を知る!

著作権・特許・不正競争・意匠・商標・知財戦略・知財経営の各トピックについて、各分野第一線で活躍する著者陣がそれぞれの専門分野を1章読み切りで分かりやすく解説。知財法務についての基本的な知識から現場で使える考え方やまで概観でき、知財部や法務部の担当者、若手弁護士・若手弁理士必読の一冊。

配属や異動、転職の際のトレンドの確認にも

有聲

レベル - 用途 - 対象 -
中級 実務 法曹 法務

2024年12月発売 / 422頁 / 定価4950円(税込)
A5判 / 並製



BOOK INFORMATION

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

